Waste King
ウエストキング

ディスポーザー

取付説明書

もくじ　　ページ

1．安全上のご注意（必ずお守りください）.....1

2．機器各モデルの寸法と使用 2

3．付属品の確認 3

4．取付手順 4

シンクの種類

取付方法１(アダプターを必要としない場合)

付属排水管の組立て順序

取付方法２(アダプターを必要とする場合)

5．電気工事 7

配線接続

新築等の事前工事の場合には

6．取付後の点検 (チェックリスト).....8

7．お客様へ取扱説明 9

取付される方へのお願い

●製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

●取付終了後 取付後の点検 のチェックリストに基づいて必ず再確認を行なってください。

●この説明書は取付終了後、お客様へお渡しください。

総輸入元
株式会社 ツナシマ商事

1．安全上のご注意（必ずお守りください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、ご使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

⚠警告

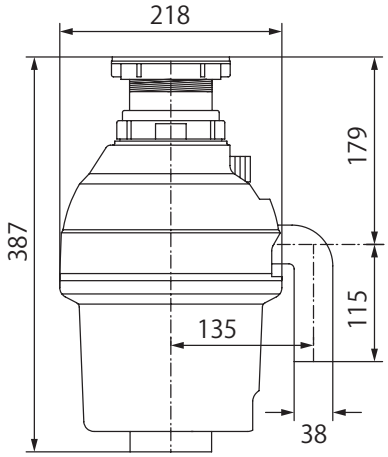
分解禁止 修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理は行なわないでください。 発火したり、異常動作をしてケガをすることがあります。	定格 15A 以上のコンセント (専用) を単独で使用してください。 他の機器と併用すると分岐コンセント部が以上発熱して発火することがあります。
アース接続 アースを確実に取付けてください。 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。	水禁 ぬれ止 水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート・感電のおそれがあります。

⚠注意

本体に排水エルボをしっかり固定し、エルボにフレキシブルホースを差込み、ワイヤーバンドをしっかり締めてください。接続がゆるいと水漏れの原因になります。	電源プラグを抜くときに、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引抜いてください。 感電やショートして発火することがあります。
禁止 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因になります。	禁止 交流 100V 以外では使用しないでください。 火災・感電の原因になります。
排水管の接続部は説明書にしたがって、必ずシールを行なってください。 接続部にスキマがあると、不快な臭いや、カビの発生原因になることがあります。	禁止 フレキシブルホースはU字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。 使用中にフレキシブルホースがつまり、シンクから水があふれて、床をよごすおそれがあります。
禁止 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。	

2．機器各モデルの寸法と仕様

WKI-3300



仕　様

型式		WKI-3300
モーター	種 類	整流子モーター
	電 圧 (V)	100
	周 波 (Hz)	50　/　60
	出 力 (W - HP)	720 - 3/4
	電 流　(A)	7.2
	回転数　(rpm)	2700
	定 格　(秒)	45
処理能力　(Kg / 分)		2.5 ～ 3.5
重 量　(Kg)		5.6

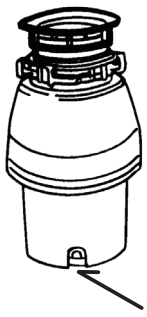
3．付属品の確認

1

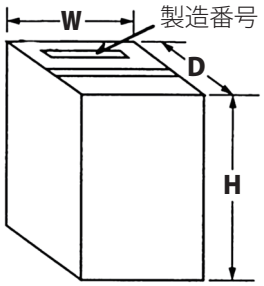
商品の荷姿と大きさ・製造番号について

本体は右の大きさのダンボールの中に入っており、製造番号はダンボールケースの上部と本体底面に 10 桁で表示されています。

型　名	W	D	H
WKI-3300	250	250	420



（例）S/N 0G9-01030-59



2

据付けに必要な部品、付属部材　工事用

下記の部品、部材は本体に組み付けられているものと、ダンボールケースに同梱されてているものがありますので、次の手順で取外しながら、ご確認ください。

① ダンボールケースを開梱し、本体及び同梱の部材を残らず取出してください。

② まず、本体の口金部分を取外します。本体取付リング Ⓕ（下記参照）の両凸部に両手をかけ、左へ回すと口金部分がはずれます。

③ 本体上部の口から内部に入っている排水エルボ Ⓘ、ガスケット Ⓗ、フランジ Ⓙ、締付ボルト Ⓚ と止水栓 Ⓝ、スプラッシュガード Ⓞ を取出してください。

④ 本体と同梱されているワイヤーバンド Ⓛ とフレキシブルホース Ⓜ も、取出しておいてください。

⑤ 先に取外した口金 Ⓐ にはめ込んであるクッションゴムリング Ⓖ を抜き、本体取付けリング Ⓕ を取外します。

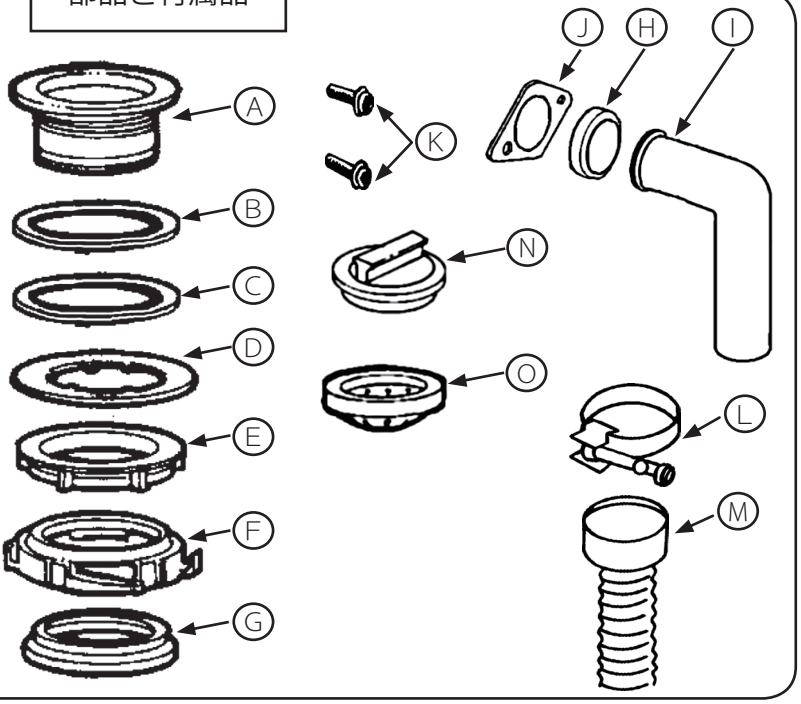
3

部品と付属部材の個数確認

取外した部品、同梱部材の個数を下図及び P4 の付属品を参照しながらご確認ください。

部品と付属品

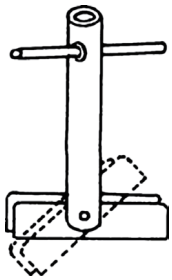
A	口金	1個
B	ゴムパッキン（厚）	1枚
C	ゴムパッキン（薄）	1枚
D	ファイバーガスケット	1個
E	フランジナット	1個
F	本体取付リング	1個
G	クッションゴムリング	1個
H	ガスケット	1個
I	排水エルボ	1個
J	フランジ	1個
K	締付ボルト	2本
L	ワイヤーバンド	1個
M	フレキシブルホース	1個
N	止水栓	1個
O	スプラッシュガード	1個



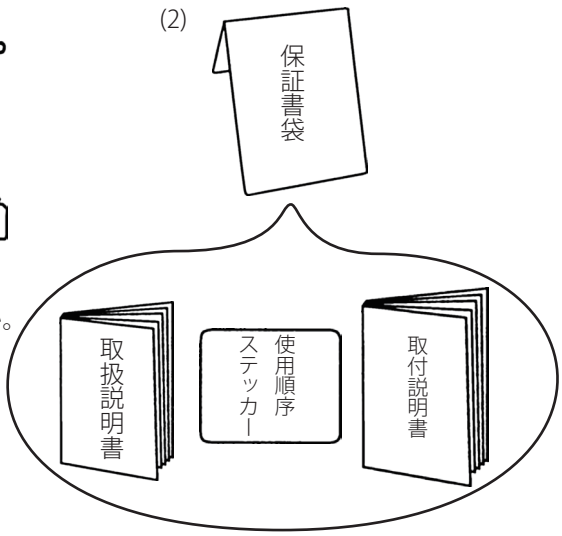
ご使用時に必要な付属品　お客様用

(1) ロックハンドル　　1 個
(2) 保証書袋 (在中印刷物)　　1 式
　取扱説明書 (保証書付き)
　使用順序ステッカー (貼付シール)
　取付説明書

(1)



(2)



※使用順序ステッカーは、水道の蛇口の周辺に貼ってご利用ください。

4．取付手順

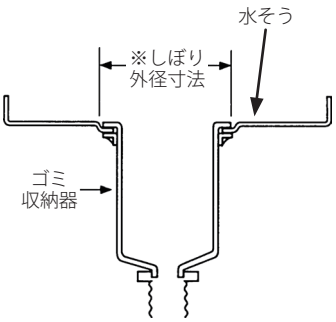
シンクの種類

シンクの種類によりアダプターが必要です。又、排水口が丸型以外の場合取付け出来ません。
現在設置されているシンクはどのタイプか、まずお確かめください。(アダプターは別売です)

取付方法	一 般 名 称	排 水 口 径 (しぼり外径)	備　　考
1	排水トラップ付	115m/ m	ゴミ収納器以外の流し台 (アダプターは不要です)
2	ゴミ収納器	180m/ m	昭和 62 年以降に生産された流し台 (現在)

昭和 62 年以前に生産され、現在使われている代表的メーカーの寸法です。

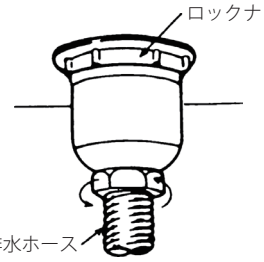
取付方法	一 般 名 称	排 水 口 径 (しぼり外径)	(参　考) 代表的メーカー名
1	排水トラップ付	115m/ m	ゴミ収納器以外の流し台 (アダプターは不要です)
2	ゴミ収納器 (A)	170m/ m	サンウェーブ、ミカド
	ゴミ収納器 (B)	173m/ m	ヤマハ、パナソニック
	ゴミ収納器 (C)	180m/ m	
	ゴミ収納器 (D)	185m/ m	タカラ、ヤマハリビングテック、ナスラック、ＥＩＤＡＩ、クリナップ



取付方法１　(アダプターを必要としない場合)

1．排水トラップの取外し

①トラップ本体から排水ホースを取外します。
②排水トラップを締付けているロックナットを回し、
　ロックナットを外します。
③これで排水トラップは上面方向に抜けます。(図 1 参照)



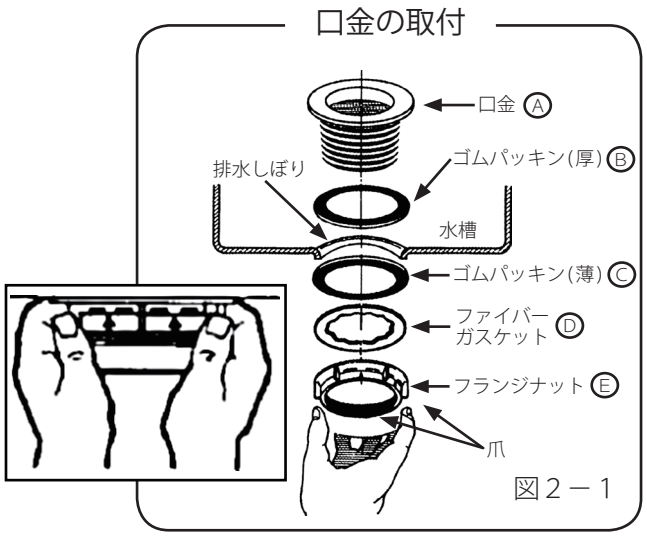
排水トラップは各流し台メーカーに於いてもいくつかの種類があり、図のようなトラップとは限りませんのでご注意ください。

図 1

2．口金 A の取付け (図２－１参照)

①ゴムパッキン (厚) Ⓑ を口金 Ⓐ にはめ込み、取付面 (パッキンの接触面) の清掃をした上で、水槽 (シンク) の上から差込みます。

②水槽 (シンク) の下から、ゴムパッキン (薄) Ⓒ ファイバーガスケット Ⓓ を順にはめ、フランジナット Ⓔ を工具は使用せず両手で強固に締付けてください。
(締付けトルク約 40kg・cm)
ハンマー等でたたいて締付けるとフランジナット Ⓔ の爪が破損します。



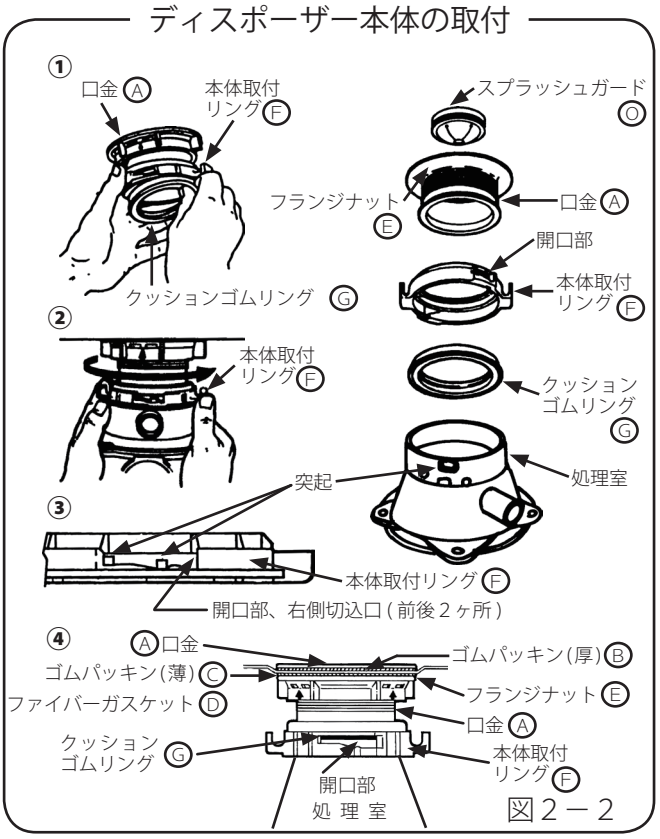
3．ディスポーザ本体取付 (図２－２参照)

①口金 Ⓐ に、本体取付リング Ⓕ をとおし、口金 Ⓐ の下端部に、クッションゴムリング Ⓖ をはめ込みます。

②本体を両手で持上げ、本体取付リング Ⓕ の開口部の右側切込口に、本体の処理室最上部の突起部分 (２ヶ所) を合わせます。

③本体取付リング Ⓕ の切込口と処理室最上部の突起部分を合わせたら、本体を上方へ押付けるようにして左へ廻すと、本体が吊下り、仮固定の状態になります。

④本体取付リング Ⓕ を右に廻して、本体の突起部分が取付リング開口部の左端にくるまで廻して、しっかり固定します。

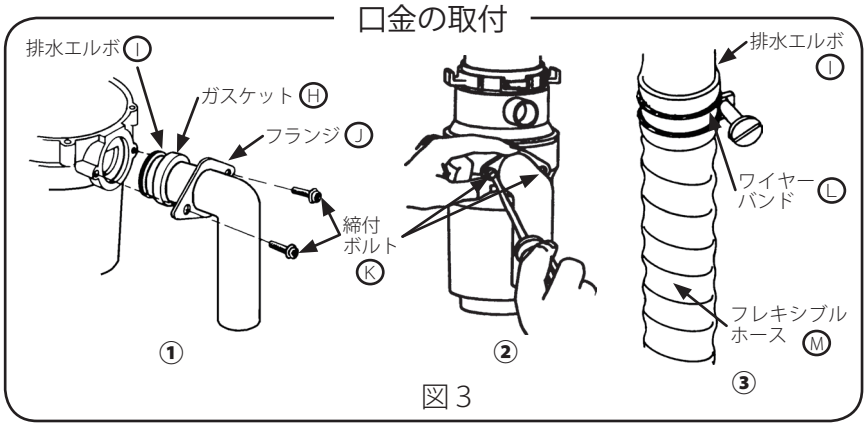


付属排水管の組立て順序

①付属のガスケット Ⓗ と、フランジ Ⓙ を図の順序どおり排水エルボ Ⓘ にとおし、締付ボルト Ⓚ を本体側の左右のボルト穴に合せて、軽く締め込みます。

②マイナスドライバー(大)か、3/8"のボックスドライバーで、締付ボルト Ⓚ の増し締めをしてください。。

③排水エルボ Ⓘ の先端に、フレキシブルホース Ⓜ をはめ込み、ワイヤーバンド Ⓛ でしっかり固定します。



排水管工事 (図３－４参照)

①排水管こう配

図４のように行なってください。

②管の口径

ディスポーザー本体の排水口に取付ける排水エルボ Ⓘ の外径は、φ 38㎜なので排水管は 40㎜以上にしてください。

③接続部のシール

排水立上管にフレキシブルホース Ⓜ を差込んだ部分 (図４－ Ⓐ 部) には、必ず接着テープでシールしてください。

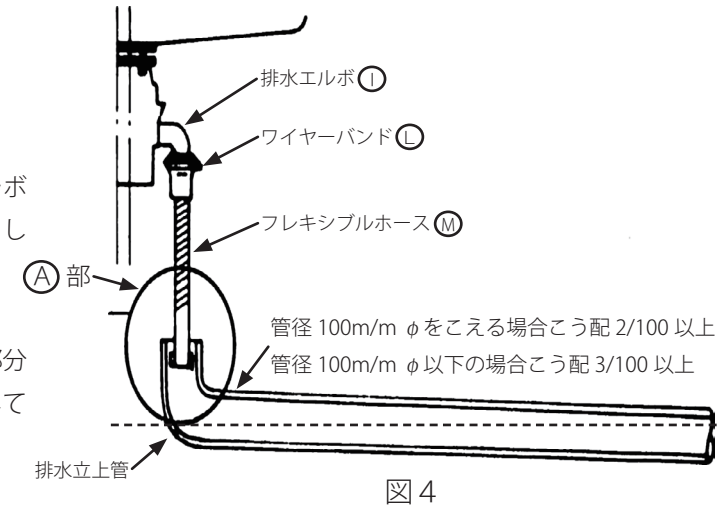


図４

取付方法２ (アダプターを必要とする場合)

ゴミ収納器付き流し台の場合は、基本的に 取付方法１ と同じですが、流し台水そうの種類に応じたアダプターが必要です。(オプションで流し台各メーカーの専用アダプターがあります。)

①アダプターの取付け〈ステンレス２枚セットの場合〉(図５－１、図５－２参照)

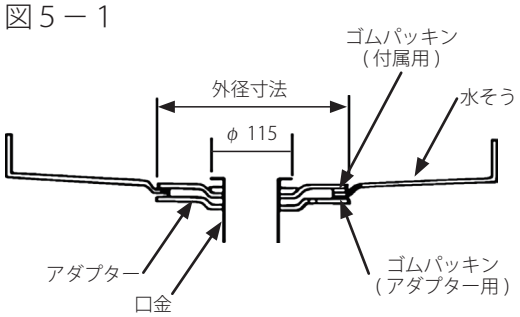
アダプター、口金 Ⓐ とゴムパッキン (厚) Ⓑ との接触面をきれいに清掃してから、アダプターを水槽 (シンク) の上側及び下側より当てがい、口金をはめ込みます。

それ以降の作業は 取付方法１ の通り行なってください。

②アダプターの取付け〈フランジナット締めの場合〉(図６参照)

アダプターの取付けは取付面 (パッキン接着面) を清掃して、(図６) の順序で取付けてください。

図５－１



水槽 (シンク) 上側のアダプターの下部には取外したゴミ収納器の取付用ゴムパッキンをそのまま使用してください。

図５－２

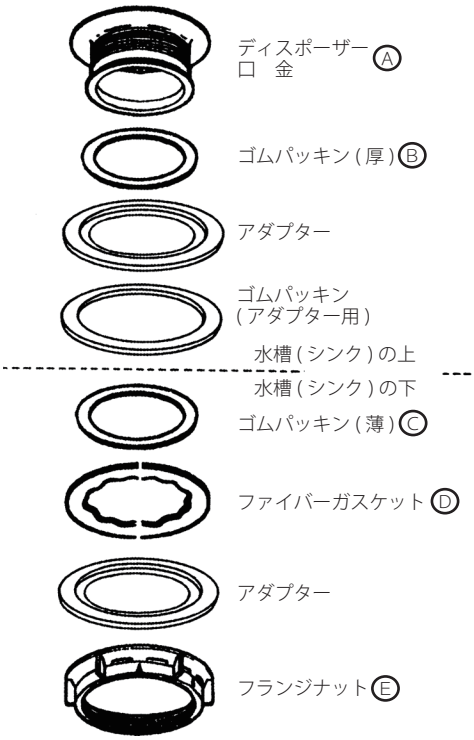
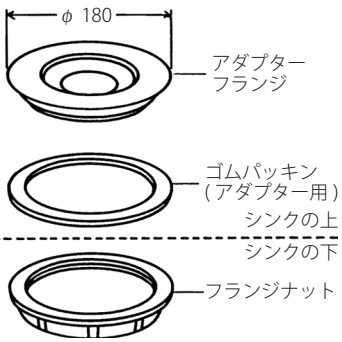


図６



5．電気工事

※本機は 100V 仕様です。

⚠ 注意

●交流 100V 以外では使用しないでください

■工事は全て電気設備技術基準に準じて行なってください。

●電源回路は 100V、15A 以上の専用回路が必要です。

●コンセントは 125V、15A の 3 ピンプラグ対応コンセントを使用してください。
(コンセントは壁面に必ず固定します)

●アース工事は必ず行なってください。
(アース工事は法令上必要です)

配線工事例

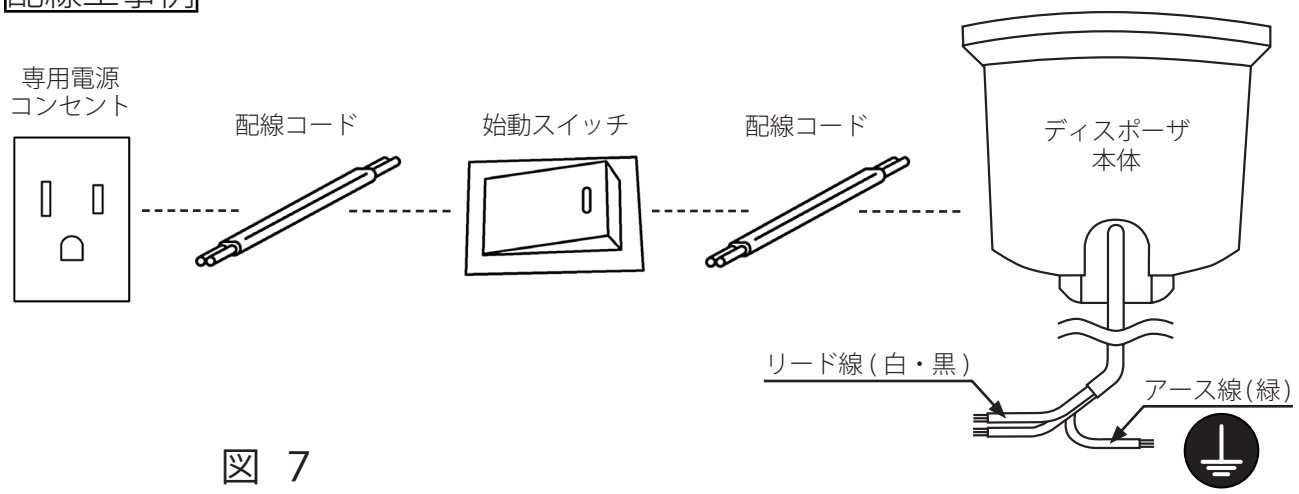


図 7

1．配線工事 (図 7 参照)

ディスポーザーの本体から出ている 2 本のリード線 (白及び黒) に配線コードを接続し、
始動スイッチにつなぎ、さらに始動スイッチから電源まで配線してください。
(ただし、始動スイッチは、操作しやすい位置に取付けてください。)

⚠ 警告

アース
接続

●アースを確実に取付けてください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

※アース線を水道管、ガス管、電話、避雷針のアース線に接続することは絶対さけてください。

新築等の事前取付の場合には

①配線工事は、あらかじめ壁面にディスポーザー専用の埋込スイッチを設置し、埋込スイッチから配線コードを接続します。
配線コードを流し台内部のディスポーザー設置場所附近に設けておけば、外観も損なわれずきれいで便利です。
また、専用回路をディスポーザー用にとっておく必要があります。(図８参照)

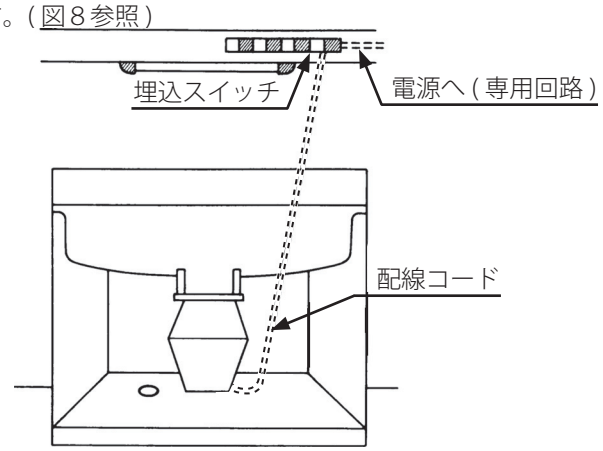
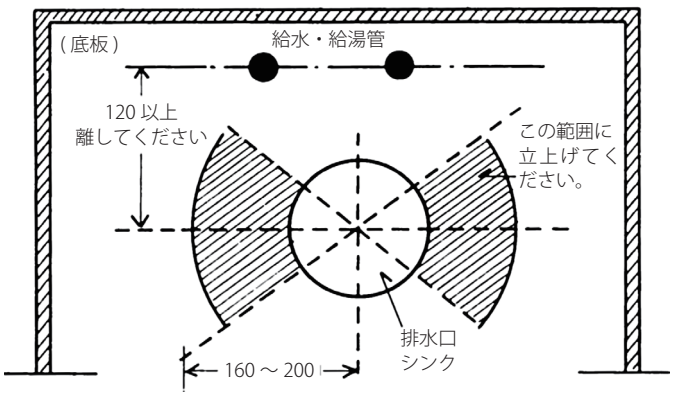


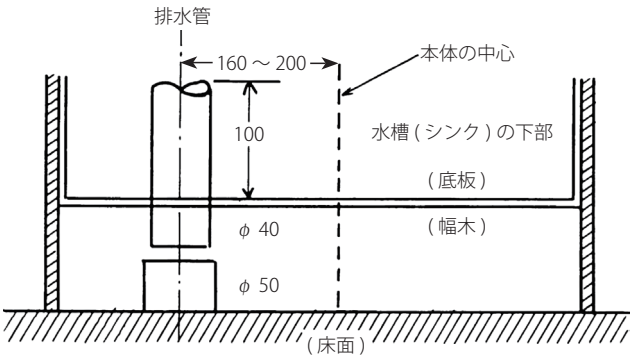
図８

②排水管の立上げは、シンク排水口の中心より、左右160 ～ 200㎜の位置で、前後 45°の範囲内にて、底板より 100㎜ほど立ち上げてください。(図９参照)

③排水、給湯管の立上げ及びシンク
下部の後面壁はシンク排水口の中心より 120㎜以上離してください。
(120㎜以内ですとディスポーザー本体に接触して取付けができません)
(図９参照)



平面図 (m/m)



正面図 (m/m)

図 9

6．取付後の点検 (チェックリスト)

点検	点検内容	参照項目	チェック
排水口の気密性	止水栓で水槽 (シンク) の排水口を止め、水槽に適量の水をため、パッキン部分の水漏れがないかを確かめましたか？	5ページ	
フレキシブルホース	排水管との接続部と確実に接続したことを確認しましたか。 また押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか？	6ページ	
電気接続	電源コンセントは専用回路で、電源プラグは 125V、15A の 3 ピンプラグ対応コンセントに接続しましたか？	7ページ	
試運転	試運転を行い、正常に動作しましたか？	9ページ	
その他	取扱説明をしましたか？	9ページ	

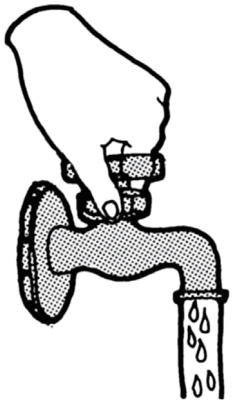
7．お客様への取り扱い説明

取扱説明書にそって製品の取り扱いを説明してください。
保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

P00 数字は同封の取扱説明書のページ数です。ご参照ください。

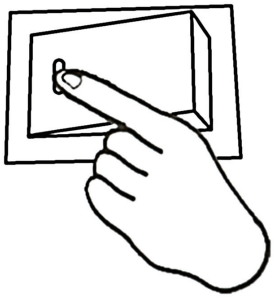
運転順序 P4

①



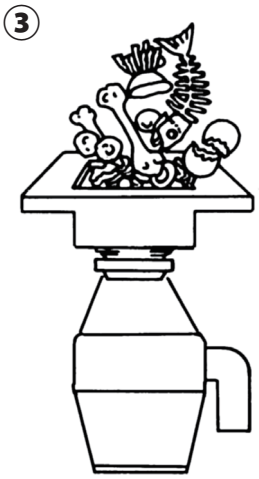
まず水を流します。
(蛇口を全開にせず、食器のススギ程度の水量 / 1分間6ℓ)

②



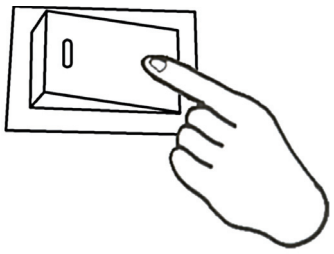
スイッチを入れます。

③



料理くずを入れます。
(大きなものは分割して)

④



くずがなくなくなったらスイッチを切り、30秒くらい水を流し続けてください。その後、水を止めます。

ロックハンドルの扱い方 P7

生ゴミの中に混入の異物が刃の間にくい込み、リセットボタン(P10参照)が働き、ディスポーザが停止した場合を想定し、ロックハンドルの使用方法を説明してください。
ディスポーザー内部に手を入れないでください。

①口金のスプラッシュガードを取外してください。(図１０参照)

②ロックハンドルの先を斜めにして、口金の上から差込んでください。(図１０参照)

③左(反時計回り)に強くまわしてください。(図１１参照)

④ロックハンドルを抜いたあとは、必要に応じて異物を除去し必ずスプラッシュガードを元の位置にはめてください。

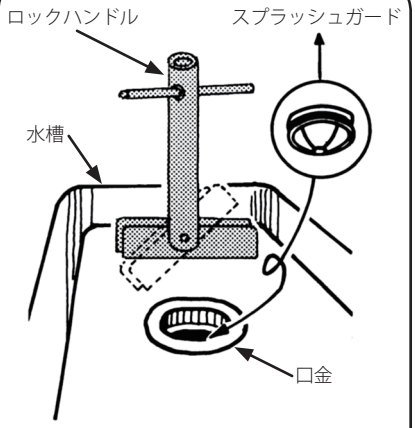
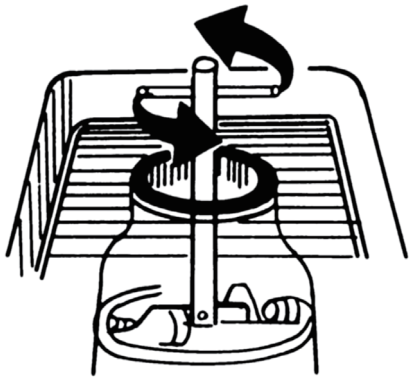


図１０



左側に強くまわしてください。
異物が取外され、回転刃が軽くまわります。

図１１

リセットボタンの復旧方法 (P6)

長時間使用したとき、生ゴミを大量に押し込んだとき、刃に異物がくい込んだときにリセットボタンが働きます。それ等の原因を取り除いたのちにリセットボタンを押し込んでください。(図１２参照)

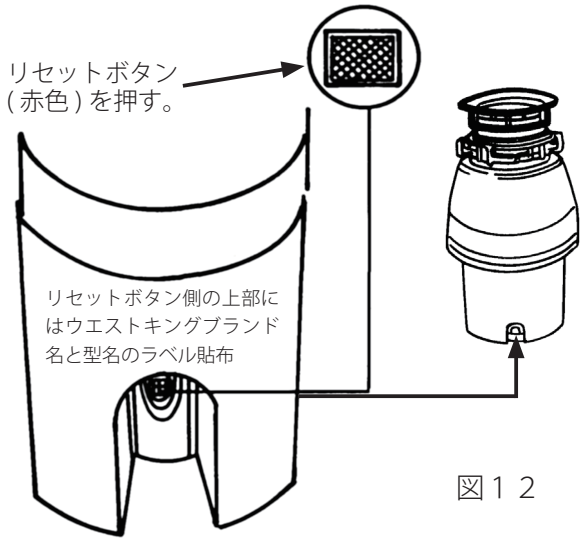


図１２

⚠警告 リセットボタンとロックハンドルを使用する時は、必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。

※保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、保管をお願いしてください。

ご使用時には

お客様に必ずお守りいただくように説明してください。

★ディスポーザー運転中は絶対にディスポーザ内部に手を入れないでください。生ゴミを入れる場合はスプラッシュガード (P5　図２－２参照) より中に手を入れないでください。 (P1)

★生ゴミが詰まった場合は、必ず操作スイッチを切ると共に、電源プラグをコンセントより抜いてください。電気が入っていないことを確認して、生ゴミを取り除いてください。ケガをする恐れがあります。 (P1)

★沸騰したお湯は流さないでください。
水を加えて湯温を下げて流してください。 (P2)

★ディスポーザーを分解しないでください。 (P2)

★ディスポーザーの処理室には、常に生ゴミが無い状態にしてください。生ゴミがたまっていますと、食器類の洗い水の流れが悪くなります。また、固形物の場合は、処理刃にかみ込む恐れがあります。 (P5)

★動・植物油脂を流された場合は、また処理室内を清潔に保つため、食器洗剤と水を流しながら運転してください。 (P5)

★ゴム手袋を使用する漂白用の化学製品の排水管クリーナー(苛性ソーダ)などは、絶対に使わないでください。(機械やホースを損傷する場合があります) (P5)

総輸入元

株式会社 ツナシマ商事

2010.9.9